

過去の受賞者一覧

年度	賞の種類	受賞者	推薦者	特徴
H30	大賞	株式会社スズキ建築設計事務所	田辺市	スズキ建築設計事務所は、昭和50年11月の創業以来、「国産材と自然素材で環境・健康配慮のナチュラル思想の住まいづくり」をキャッチフレーズに、長年に亘り国産材を用いた住宅の設計・建築を行っている。設計・建築では、内装や造り付けの家具等に使用する材料として、小径のヒノキ間伐材を原料として生産される田辺市中辺路木材加工場の台形集成材を使用。台形集成材は、1995年(平成7年)からの23年間も間、継続的に使用。スズキ建築設計事務所が、田辺市中辺路木材加工場の台形集成材を使用する理由は、田辺市の間伐材等の有効利用に対する考え方に共感したことや、製品の高度な完成度としており、森林整備の必要性や国産材を使用する意義等について深い理解を示している。スズキ建築設計事務所は、紀州材の台形集成材使用し、紀州材の需要拡大及び紀州材のPRに貢献している。また、この台形集成材の使用は、今後も継続され、紀州材の需要拡大に資するものと考えられる。
H29	特別賞	学校法人近畿大学 株式会社N T T ファシリティーズ 株式会社大林組	株式会社内外テクノス 越井木材工業株式会社 株式会社伸栄木材	学校法人近畿大学は、2014年に東大阪キャンパスの大規模整備計画「超近大プロジェクト」構想を発表し、その整備に着手。その際、学校法人近畿大学は、設計段階において、設計・監理を担当した(株)NTTファシリティーズとともに、施設での木材使用を検討。結果、両者は、6棟の内2棟の施設(「国際学部棟」・「アカデミックシアター3号館」)で、構造材等として木材を使用することとし、その木材は、強度に優れた紀州材を採択し使用することとした。施工は、(株)大林組が担当し、紀州材の調達に係る納期については、地域の供給体制を考慮した計画とし、建築においては、意匠性に配慮し、紀州材の「現し」工法を採用した。今回の2棟の建築にあたり、施主である学校法人近畿大学、設計・監理の(株)NTTファシリティーズ、施工の(株)大林組それぞれが、紀州材を積極的に選択・使用し、紀州材の利用拡大及び紀州材のPRに貢献している。デザイン性に優れたこの2棟は、建築関係者やメディアの注目度も高く、今後の紀州材の利用拡大に資するものと考えられる。
H28	大賞	株式会社鳥貴族	北浦木工	鳥貴族の店舗づくりは、「木の温もりを感じる非日常的な空間」を目指しており、店舗内装材等として丸太や無垢の木材を積極的に使用している。店舗の規模は平均約40坪で、使用される紀州材の主な部材は、柱、梁、太鼓焼き丸太、小丸太、テーブルや椅子の脚丸太などである。1店舗当たりの紀州材使用量は、平均9m3程度であり、これまで直営店舗で使用された紀州材の量は、約300店舗で約2,700m3にのぼる。鳥貴族は、現在500店舗以上を構え、2021年7月期までに、関東、関西、東海地域で1,000店舗、また、その後は、全国で2,000店舗を目指しており、継続的な紀州材需要と波及効果が見込まれる。
H27	大賞	株式会社三浦建設	龍神村森林組合	三浦建設は、木造注文住宅の建築を主体とする工務店で、自然の呼吸づかいが感じられる家づくりをコンセプトにした自社ブランド「心呼吸の家」を展開。「心呼吸の家」には、乾燥工程で一切の化石燃料を使わない桧柱「龍神守」(平成22年に商標登録を取得)を使用し、平成24年以降で20棟を建築。「龍神守」の供給を可能とするため、桧管柱600本、桧通柱300本を平成21年から毎年継続購入、7年間の累計は桧管柱が4,200本、桧通柱は210本に達する。毎年の継続購入は、安定した紀州材需要を創り出すと同時に、連携企業の経営の安定にも貢献している。
	特別賞	有限会社無有建築工房	株式会社山長商店	無有建築工房は、住まいの楽しさや季節の変化を感じられる空間づくりを追求した住宅設計を行っており、紀州材を使い自由で豊かな空間を木造架構で実現した建築が多数ある。さざなみの森の園舎(東広島市)では、和歌山県産のあかね材(虫害材)を使用。葉の形をした屋根を支える葉脈の棟木の上に、野地板として用意された120mm角の桧600本がびっしりと敷き詰められた空間が生まれている。当該建築は、あかね材やストック材を活用して豊かな木造、木質空間を実現すると同時に、本県にとって大きな課題であるあかね材の有効活用新たな可能性を提示するものである。
H26	大賞	OMソーラー株式会社 (静岡県)	株式会社山長商店	太陽熱を集めて蓄熱し、家全体を暖めるOMソーラーシステムを全国150社の会員工務店に供給。推薦者と連携して、紀州材はOMソーラーシステムに適した材として会員工務店にPRし、現在では首都圏の会員工務店により年間50棟以上の紀州材使用住宅が建築。2012年から建築家 伊礼智氏的设计による質の高い標準化された家づくりを目指す「i-works project」の運営を担う。同プロジェクトでは、山長商店提供の紀州材を標準仕様として7棟が建築され、今後も拡大予定。
	大賞	郡建設株式会社・こおり木材株式会社 (千葉県)	丸宇木材材売株式会社	郡建設(株)は、紀州産桧を土台、柱に使用したオリジナル工法を標準仕様とした住宅を年間200棟以上販売・施工する地域ビルダー。これまでに約5,100棟の引き渡し実績。オリジナルキャラクター「ひのきちゃん」や、紀州産桧の植林から製品になるまでの物語をまとめた小冊子を活用して、紀州産桧のPR・啓蒙活動にも尽力。こおり木材(株)は、昭和50年4月の創業以来、一貫して良質の木材にこだわる材木店。紀州産桧を年間1,000m以上取り扱う。特に郡建設(株)の住宅には、厳選した紀州産桧の構造材を全棟納入。
H25	大賞	平村建設株式会社 (大阪府)	あらほり木材	大阪府南部を拠点に、伝統の技と知識を継承する日本建築の職人集団として、大工11名を含む計15名で、社寺建築の設計施工、無垢材を使った住宅施工等を行う工務店。昭和62年より紀州材を使用し、これまでに数多くの寺社仏閣、住宅建築等を手掛けてきた。丸太製材から現場施工まですべてを自社で行う一貫生産体制を敷き、質・量ともに豊富な在庫を保有することで、寺社仏閣等で必要とされる多様なニーズへの対応をも可能としている。
	大賞	株式会社平尾工務店 (兵庫県)	山長商店株式会社	兵庫県加東市に本社を置く創業1912年の老舗工務店。2001年頃から木の家に特化した家づくり事業を展開。直近の実績(2012年7月～2013年6月末)では紀州材を使用した住宅16棟を建築。柱、土台、梁などの主要構造材はすべて紀州材を使用している。「エコとデザインの融合」や「家族を育む空間の創出」など新しいライフスタイルの提案も行っている。
	特別賞	福島加津也+富永祥子建築設計事務所 (東京都)	丸宇木材材売株式会社京葉市場	工学院大学創立125周年記念事業の一つとして、弓道場とボクシング場を建築することとなり、その設計を担当。弓道場とボクシング場の構造材や造作材に、約20m3の紀州材を使用。独創的な木質空間の設計を通して、新たな木造の可能性を追求した。また、設計の初期段階から、木材関連業者と打ち合わせを行い、効率的な木材調達を可能にした。
H24	大賞	株式会社 川口建設 (大阪府)	龍神村森林組合	大阪府南部を拠点とする木造無垢の在来工法を専門とする工務店。平成17年度より紀州材を使い始め、平成22年度には紀州材(龍神産)を使用した自社ブランド「龍神」を立ち上げる。主要構造材及び内装材に紀州材を使用しており、中でも化粧梁や造作物などの「あらわし」にこだわる。
	特別賞	京阪電鉄不動産株式会社 (大阪府)	丸紀木材工業株式会社	京阪電鉄不動産(株)は、京阪電鉄沿線での大規模マンションの建設や建売分譲住宅の企画販売等を行う。ローズブレイス京阪宇治は、総戸数35戸にのぼる戸建て分譲住宅であり、その住宅の内装には玄関フローアーから階段、手摺り、キッチンカウンターに至るまで、随所に紀州材を使用。
H23	大賞	甘粕工務店 (神奈川県)	株式会社稻生商店	神奈川県を中心に紀州材を使用した在来工法にこだわる工務店。高樹齢の天然乾燥材にもこだわりを見せる。
	大賞	株式会社 みらいテクノハウス (東京都)	株式会社山長商店	東京都にある「紀州・ヒノキの家」を前面に打ち出す工務店。紀州ヒノキ無垢材(特一等)を標準仕様とする。業界初のヒノキ無垢材による木造ラーメン構法を開発。
H22	大賞	紀州ひのきの会 (京都府)	株式会社かつら木材商店	紀州ヒノキを支持する近畿地区工務店で組織する団体。紀州ヒノキを構造材に積極的に使用している。
	大賞	(株)プフィエ (兵庫県)	熊野川流域木材協同組合	神戸にある建築設計会社。兵庫、大阪、京都などの住宅建築で紀州材を使った「自然素材の家」づくりをすすめている。
	特別賞	近畿大学附属小・附属幼稚園 (奈良県)	和歌山県森林組合連合会	奈良市あやめ池の同校校舎新築において、約2,000m2の紀州ヒノキの化粧板を使用。
H21	大賞	協同組合 匠の会 (東京都)	株式会社山長商店	首都圏を中心とした工務店で組織する協同組合。山長商店と提携し、同社が所有する森林から伐採、製材、プレカットを生産地で行い、会員各社の現場委へ搬入する産直システム。
	特別賞	株式会社 コアー建築工房 (大阪府)	株式会社伸栄木材	大阪の紀州材現しの家にこだわる工務店。年間30棟前後建築。